



院内トリアージの実施について

当院は院内トリアージ実施医療機関です。来院された患者さんの症状等によって、診療の順序が前後することがありますが、ご理解をお願いいたします。

トリアージ分類表 (JTASに準拠)

緊急度判定レベル	症状の特徴や具体例
蘇生 (レベル1)	生命が危ぶまれ、直ちに対応が必要な状態。持続しているけいれん、高度な意識障害や呼吸障害、ショック、重症外傷等
緊急 (レベル2)	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な状態。中等度の呼吸障害 (SpO2 < 92%) や意識障害、重度の脱水症、激しい頭痛や腹痛等
準緊急 (レベル3)	比較的安定しているが、長時間待つことが出来ない状態。頓挫したけいれん (意識清明)、SpO2 92-94%、変形のある四肢外傷、発熱 (具合が悪そう) 等
低緊急 (レベル4)	緊急性が低く、診察までに1~2時間程度待てる状態。軽度の喘息 (SpO2 > 94%)、発熱 (具合が良さそう)、縫合が必要な外傷 (止血済み) 等
非緊急 (レベル5)	緊急性や病態の増悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態。包帯交換、縫合の必要のない傷、処方の継続希望等

トリアージとは・・・

治療前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、左表のとおり、患者さんの緊急度・重症度を判断し、より早期にケアを要する患者さんから優先して診療する方法です